

研究グループの大学院生募集案内

項目	内 容
1 研究グループ名 (英文名)	土壌生態学研究グループ (Soil Ecology Rsearch Group)
2 教員氏名・所属	金子信博 (教授・環境リスクマネジメント専攻) 中森泰三 (講師・環境生命学専攻)
3 研究概要	陸上の生態系を支えている土壌の微生物、動物などの生物多様性と、土壌の物質循環や構造の維持といった生態系機能の関係について研究している。これらの研究は生態系の理解を深めるとともに、持続可能な一次生産（農業、林業など）を可能にするための基礎理論を提示することを目的としている。
4 求める人材像	土壌の賢明な保全と利用による持続的な一次生産体系の確立は、私たちの社会、生活に欠かせない。私たちの研究グループは、土壌生物の多様性と生態系機能の研究では世界のトップグループに入っている。既存の体系にとらわれない斬新な発想を持ち、自由にさまざまな手法を組み合わせ、社会のあり方を変える研究者を養成したい。
5 研究環境	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌生物の採取、観察、飼育・培養が可能：土壌動物抽出装置、顕微鏡、恒温温室（地上部と地下部で独立に温度制御が可能）、クリーンベンチ。 ・土壌および土壌生物の理化学的解析が可能：CN コーダー、イオンクロマトグラフィー、ガスクロマトグラフィー。 ・核酸（DNA、RNA）の解析が可能：定量 PCR、シーケンス解析、生物群集解析。 ・JST「環境再生リーダー養成プログラム」では博士後期課程学生の海外調査を支援。
6 多様な履修システム	<ul style="list-style-type: none"> ・一般学生のほか、社会人の方も歓迎します。 ・短縮修了：正規には修了に2年間(博士課程前期)もしくは3年間(同後期)かかりますが、それぞれ最短で1年間への短縮が可能です。 ・長期履修：仕事の都合で正規の期間での修了が困難と考えられる場合は、入学時に申請すれば、正規の期間の授業料で4年間(博士課程前期)もしくは6年間(同後期)までの長期履修が認められます。
7 経済的支援	授業料免除、RA（リサーチ・アシスタント）、TA（ティーチング・アシスタント）の制度が充実しています。
8 募集スケジュール	第1次募集（2013年10月入学及び2014年4月入学） <ul style="list-style-type: none"> ・出願期間：平成25年6月17日～6月20日（書留郵便による郵送受付） 詳しい内容は下記の大学 Web ページを参照してください。 http://www.eis.ynu.ac.jp/applicant/index.html
9 問い合わせ・連絡先	中森泰三（講師） 電話：045-339-4357, メール：taizo@ynu.ac.jp 研究室 Web サイト： http://web.me.com/nobuhirokaneko/NobuhiroKaneko/Yo_koso.html